



平成28年度 但馬産業大賞

平成29年3月



審査委員会／平成29年2月15日(水)
表彰式／平成29年3月24日(金)





但馬県民局長
秋吉秀剛

ごあいさつ

但馬は、豊かな自然や歴史・風土をもとに、高度な伝統技術や先端技術を持つ地域産業、人々に憩いと安らぎを与える観光産業、自然の恵みを大切にしたい農林水産業などを育み、同時にそれぞれの産業が地域の発展を支えてきました。

そして、今年も、卓越した技術力や斬新なアイデア等を持ち、広くご活躍され、但馬の産業活力と地域発展の原動力となっておられる事業者の皆様が「但馬産業大賞」を受賞されますことを心からお慶び申し上げます。受賞されました皆様の技術や技能、新サービスは、今後の但馬が迎える新たな展開に不可欠のものとして堅く信じております。

但馬地域を訪れる観光客数は、3年連続で1,000万人を突破し、今後も、北近畿豊岡自動車道や山陰近畿自動車道の整備による更なる観光誘客の促進が期待されるとともに、農産物のブランド化・資源循環型林業の推進など但馬の豊かな地域資源を活用した取り組みも進められるなど将来の展望が期待される話題が増えつつあります。一方で、若者の流出による人口減少や、地域経済の活性化など、引き続き解決に向けて取り組むべき課題も多く抱えています。このような状況の中、但馬県民局では、「あしたのふるさと但馬」を目指した地域創生の推進に向けて、但馬の地域資源が持つ魅力を最大限に発揮しつつ、地域の活性化を着実に進めるため、「交流人口の拡大」や「定住人口対策」のための施策を展開してまいります。受賞されました皆様にも、事業活動などを通じ、こうした夢のある地域づくりにさらなるご助力をいただければ幸いです。

結びに、受賞されました皆様が、今後ますますご発展、ご活躍されると同時に、但馬の産業の活性化や地域の交流をさらに力強く牽引していただくことを心より祈念いたします。



審査委員長

太田 勲

(兵庫県立工業技術センター所長)

講 評

但馬地域には、高い技術力を有する製造業、豊岡かばんなどの地場産業に加え、豊かな自然環境と豊富な観光資源を生かした多くの産業が存在します。本年度も関係団体からご推薦をいただいた事業者について、6名の審査委員が、技術・手法、独創性、地域への貢献度など様々な面から厳正な審査を行いました。その結果、平成28年度但馬産業大賞は3部門で3社・団体が受賞されることになりました。簡単ですが、受賞者を紹介させていただきます。

まず「キラリと世界へ輝く技術部門」ですが、二方蒲鉾株式会社は、長年培ってきた職人の勘や経験などノウハウを活用し、独創的な発想でクセをなくしたアゴ(トビウオ)をつかった『濃香あご短冊』を開発しました。同製品は平成28年の第68回全国蒲鉾品評会の最高賞である農林水産大臣賞を受賞するなど、各方面から高く評価されています。独自性・優位性に加え、地元魚加工業者の雇用維持や知名度の向上など地域への貢献度も高く評価されました。

次に「観光・交流資源を活かしたツーリズム部門」ですが、一般社団法人ハチ北高原自然協会は、昭和43年1月ハチ北スキー場開設以来、長年にわたり近畿地方及び中国地方からの誘客に努め、西日本を代表する人気スキー場に成長させました。地区の住民全員が会員である同協会では、集客を住民全員で行い、年間を通じた四季型観光事業に早くから取り組んでおり、地元観光振興に寄与しています。加えてヒルクライムなど新たな取組にも積極的であり、地元雇用創出など地域貢献度も高く、評価されました。

最後に「新分野へチャレンジする経営革新部門」ですが、建設業を本業とする株式会社西村工務店は、廃校となった中学校を農林業体験宿泊施設「うづかの森」として改築し、観光産業に参入しました。地元高校の専門学科と連携して四季型の誘客促進ツールとして体験型観光「香美町冒険学習旅行」を開発しているほか、若者を含めた有害鳥獣対策を行うなど、ビジネスを通じて地域課題の解決や若者定着に向けた地域コミュニティの形成に貢献しています。地元産業界への貢献度が高く、地域課題解決に向けたユニークな取組が評価されました。

以上、受賞内容を簡単に紹介させていただきましたが、但馬地域には大変素晴らしい企業や団体があることを改めて実感いたしました。受賞者の皆さまが、この受賞を契機にますます研鑽を重ね、更なる飛躍を遂げられますよう祈念いたしまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。

但馬産業大賞受賞者名簿

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

受賞者名

二方蒲鉾株式会社

地場の魚は旨かった。温故知新の精神で製品『濃香アゴ短冊』を開発し、平成28年全国蒲鉾品評会最高賞受賞

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

受賞者名

一般社団法人
八チ北高原自然協会

協会設立以来50年間にわたり観光事業を通じ宿泊客の誘客に努め、村岡区の発展に大きく寄与

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

受賞者名

株式会社 西村工務店

体験交流型観光の開発・提供により観光産業に参入し、観光産業の発展に貢献

但馬産業大賞審査委員会委員名簿

兵庫県立工業技術センター	所長	太田 勲(委員長)
兵庫県立但馬技術大学校	大校長	内田 仁(副委員長)
(公財)ひょうご産業活性化センター	常務理事	角 正 憲
(公社)ひょうごツーリズム協会	専務理事	松 森 章 子
兵庫県北部農業技術センター	所長	福 島 護 之
(公財)但馬ふるさとづくり協会	事務局長	田 中 重 厚

二方蒲鉾株式会社

地場の魚は旨かった。温故知新の精神で製品『濃香アゴ短冊』を開発し、平成28年全国蒲鉾品評会最高賞受賞

魚肉練り製品の製造・販売を行う同社では、市内の竹野港で水揚げされるアゴ（トビウオ）を原料として活用した製品『濃香あご短冊』を開発。平成28年の第68回全国蒲鉾品評会で最高賞である農林水産大臣賞を受賞した。弾力を出すのが難しく、クセもあるため業界では練りものに不向きとされるアゴを使って製品化している点に技術力と発想力を認められた。100%アゴの魚肉練りものとして開発した同製品は、通常、弾力補強として加えられるつなぎのデンプンを一切使わずに、かまぼこ特有の弾力性を実現させた。通常1回のところ、3回ミンチ機を通して小骨をすりつぶし、うまみを出すとともに、あえて少し小骨を残すことで歯応えを出すなど工夫を加えた。同社が長年培ってきた職人の勘や経験などノウハウの蓄積と、港のそばに加工場を置く地の利も十分に活かすことで、鮮度を保って身の締まった状態で加工し、アゴ本来のうまみと独特の歯応えを出すことに成功した。隠し味にブラックペッパーを加えるなど、青魚が苦手な人や練り製品離れが大きい若い世代、女性にも好んでもらえる製品に仕上がっている。



二方蒲鉾株式会社
NIPONKAI KAMABOKO CO., LTD.

濃厚な地元産トビウオの風味と
ピリッとスパイシーな黒胡椒が
おつまみにピッタリ！

第68回
全国蒲鉾
品評会

農林水産大臣賞 受賞

濃香アゴ短冊

のうこう

粗挽き
黒胡椒

つなぎの澱粉を使わない昔ながらの製法。



赤板



焼き蒲鉾



練り物 おでん種



社長



平成29年 新年会



社屋外観

会社沿革

- 大正10年 二方商店として豊岡市瀬戸118-9にて創業
- 昭和43年 二方蒲鉾(株)設立
- 昭和46年 工場を現在の豊岡市瀬戸757-1に新設
- 平成7年 冷凍、冷蔵庫を新設
- 平成25年 横浜市に事業部設立
- 平成28年 第68回農林水産大臣賞受賞(濃厚あご短冊)

会社住所

〒669-6122 兵庫県豊岡市瀬戸757番地の1
 TEL 0796-28-3121 FAX 0796-28-2257
 E-mail: yone@futakata.co.jp HP: http://www.futakata.co.jp

一般社団法人 八チ北高原自然協会

協会設立以来50年間にわたり観光事業を通じ宿泊客の誘客に努め、村岡区の発展に大きく寄与

同協会では昭和43年1月八チ北スキー場開設以来長年にわたり近畿地方及び中国地方からの誘客に努め、ピーク時で30万人を越すスキー客が訪れる、西日本を代表する人気スキー場に成長させた。同協会は観光関係事業者のみならず地区の住民全員が会員となっており、4月のザゼンソウ祭り、オートキャンプ場の開設、7月の瀬川平^{とろかわだいら}トレイルランやホテル観賞会のほか、10月には但馬牛食まつりを開催するなど、四季型観光事業には10年以上前から地域ぐるみで取り組んでいる。昨年10月には全国的にも珍しいヒルクライム（クラシック自動車レース）試走会を開催するなど、新しい試みにも積極的に取り組んでいる。かつて冬期は男性が出稼ぎに行く家がほとんどであったが、スキー場開設により多くの雇用が創出され、当区の発展に大きく寄与してきた。スキー場開設から50周年を迎えた今、暖冬による積雪量の減少に対応し、効果的な通年型誘客事業が期待される。



「ヒルクライム」試走会



春の八チ北自然観察会



散策及びトレイルラン練習コース



老若男女楽しめるマレットゴルフ場(全18ホール)





地元の山菜をふんだんに使ったお弁当を食べていただき、八チ北を散策するお客様



大勢のお客様で賑わうスキー場



会社沿革

昭和42年	瀬川平自然協会として発足
昭和47年	民宿街駐車場開設(600台収容)
昭和61年	グリーンパーク八チ北キャンプ場開設
平成 8年12月	ゲレンデ駐車場開設(1,000台収容)
平成11年 4月	第1回ザゼンソウ祭り開催
平成16年 7月	社名を有限責任中間法人八チ北高原自然協会に変更 通称(八チ北観光協会)
平成20年 7月	第1回ホテル観賞ツアー開催
平成22年 7月	社名を一般社団法人八チ北高原自然協会に変更
平成24年 8月	瀬川平ハイキングコース整備
平成25年10月	マレットゴルフ場開設



スタッフ

会社住所

〒667-1344 兵庫県美方郡香美町村岡区大笹15-1
 TEL 0796-96-0732 FAX 0796-96-0341
 E-mail: hatikita@mx.nkansai.ne.jp HP: http://www.hachikita.jp/

株式会社 西村工務店

体験交流型観光の開発・提供により観光産業に参入し、観光産業の発展に貢献

建設業を本業とする同社は、廃校となった中学校を農林業体験宿泊施設「うづかの森」として改築し、観光産業に参入。近隣の耕作放棄地を利用して都会から来た人に田植えや稲刈りなどの体験を行っている。暖冬や日帰り客増加による冬期誘客が難航する中、同社では閑散期となる春や秋を含めた四季型の誘客促進ツールとして体験旅行商品の開発を計画。町内の4事業者及び兵庫県立村岡高等学校と産学連携による体験型観光「香美町冒険学習旅行」の開発・提供を行っている。ジビエ(食用の野生鳥獣肉)としてのシカ肉活用について学習する『ジビエワークショップ』により若者を含めた有害鳥獣対策を行うなど、ビジネスを通じて地域課題の解決や若者定着に向けた地域コミュニティの形成にも貢献している。インバウンド対策や農業体験などの都市と農村の交流、ジオパークなどの有効活用により地域の新たなツーリズム構築に積極的に取り組み、徐々にではあるが成果にも結びつきつつある。今後地域全体に波及することで地域の再生と活性化が期待される



うづかの森外観



アクティビティ



アクティビティ



高校生連携事業



社屋外観

会社沿革

- 昭和50年8月1日 大工工事業・建築工事業登録
- 昭和58年5月1日 土木工事業登録
- 昭和61年5月1日 資本金2000万円にて、法人登記
- 平成22年7月1日 旧兎塚中学校を香美町より取得
- 平成24年7月1日 宿泊業(うづかの森)営業開始

会社住所

〒667-1334 兵庫県美方郡香美町村岡区福岡17
TEL 0796-96-1136 FAX 0796-96-0832
E-mail: info@go-go-nishimura.co.jp HP: <http://www.go-go-nishimura.co.jp>

歴代の受賞者

平成19年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 ビトーアールアンドディー

レース用オートバイホイール(鍛造マグネシウム製)の開発、製造、販売

マルヨ食品 株式会社

但馬を代表する水産物ホタルイカの醤油漬けを開発

中田工芸 株式会社

高級衣料品店等で使用される木製ハンガーの製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

有限会社 夢大地

環境創造型・雇用型農業として、未来を展望したモデル農場

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

但東町花弁球根園芸組合

特産品を活用したチューリップまつりの開催で地域を活性化

農家民宿「八平だるま」 能勢 勇

グリーンツーリズム特区制度を活用した農家民宿の経営

たけの観光協会

愛犬専用ビーチの開設による新たな観光需要の開拓

浜坂観光協会

歴史、文化、産業等の知識を持つカニ専門家「カニソムリエ」の養成

平成20年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

日本精機宝石工業 株式会社

工業用ダイヤモンドの研磨、焼結技術を独自に開発し、精密工具を製造

但馬ティエスケイ 株式会社

冷間鍛造により100mmを超える中空形状に加工できる技術を開発

株式会社 オーク

廃タイヤを利用した振動伝播阻止法(Ti-TAN工法)を開発

株式会社 トキワ

但馬の特産品を活かした調味料やワイン、梅飲料等の製造・販売

吉田体機工業 株式会社 養父工場

競技用体操器具(トランポリン等)の製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

有限会社 清美社

地域一帯となったリサイクル事業(廃油をバイオディーゼル燃料に活用)

神鍋白炭工房 田沼茂之

白炭製造の省力化・量産化設備の開発

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

但熊 西垣源正

卵かけごはん専門店「但熊」の運営による地域の活性化

但馬高原植物園

17haの敷地に、1,000種の自生植物を有する植物園

香住観光協会

カニ検定を実施し、「カニの本場カニのまち香住」を全国にPR

湯村温泉若女将会 ゆむらなでしこ

旅館同士連携して、若女将会「ゆむらなでしこ」を結成し観光PR

平成21年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

富士発條 株式会社

世界最先端分野の超精密金属部品の研究・開発・製造

株式会社 東豊精工

電子部品・医療機器向け世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発と量産化

香住鶴 株式会社

伝統的な酒母造り(生 酢山麩 酢)にこだわり世界に通用する味を追求

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

NPO法人 八千高原・氷ノ山自然体験村

自然体験活動で、生きる力と夢を育む力の増進

香美町村岡観光協会

ひょうご名物ガイドも輩出した、真心を込めたおもてなしのツーリズム

生活工房香味煙 井上利夫

燻製独特の色と香りにこだわった自然派無添加の手作りハムの製造

平成22年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

美岡工業 株式会社

大型・小型精密部品とあらゆるニーズに応え世界に通ずる加工技術の確立

株式会社 オアシスマップ

地図をベースにより良いまちづくり、福祉・防災における安心情報の提供

和田山精機 株式会社

超硬合金製冷間鍛造技術の開発により、世界最高水準の金型寿命と高精度の実現

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

城崎このさき100年会議

城崎温泉の新たなおもてなし“ゆめば”の導入

和佐父集落西ヶ岡棚田保全維持会

棚田の景観保全や棚田を活用した体験交流による地域の活性化

平成23年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 タクミナ 生産本部 総合研究開発センター

高精度等速度カムにより、脈動を発生させない「スムーズフローポンプ」を開発し、最新の流体移送技術を確立

株式会社 誠工社

薄物媒体搬送技術における高度な技術ノウハウと部品集約システムを確立

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 田中屋食品

品質の高い出石そばを商品化し、独自性のあるマーチャンダイジングを展開

大徳醤油 株式会社

地元農業者と連携して新商品開発に取り組むなど、農商工連携における地域のリーディングカンパニーとして活躍

平成24年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 多田スミス

鑄造技術レベルの向上を目的としたダイカスト技能士資格取得の促進により、各製品毎の最適な鑄造条件の設定等幅広い知識に基づく理論と実技の両輪で、品質及び生産効率の向上を実現

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 げんぶ堂

コウノトリの野生復帰に取り組み但馬地域で、6次産業を観光に生かし地域資源と一体となった観光誘客を推進

全但バス株式会社 やぶ市観光協会

地域活性化を目的とした継続的な住民参加型ツーリズム、「但馬・やぶ四季体感ツアー」の実現

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

有限会社 マジック

昇華転写システム構築への取組により、色調管理等のデジタル化による一貫した品質管理に基づくデザインからプリント、縫製までの製作工程の内製化を実現

株式会社 但馬寿

地域産物・伝統技法を活用した製品開発、地域産品の販売や、情報発信機能を合わせ持つ「ゆむら屋」の運営とともに、「地域ブランドソング」も製作・活用し、自社・OB・地域一体となった経営を推進

平成25年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

東海バネ工業 株式会社(豊岡神美台工場)

熟練職人の作り込みを再現した熱間コイルマシン「YU-KI」の開発・導入などにより、多品種微量受注生産の「高品質ばね」を全国・世界へ発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

日和山観光 株式会社

ジオパークの楽しみ方“見る・食べる・学ぶ”を具体化した「日和山海岸ガイドセンター」の展開をはじめ、ソフト・ハード両面から先導的・積極的なジオパーク活動を推進

明延鉱山ガイドクラブ

「このままでは鉱山の歴史を伝えられなくなる」との思いを胸に、日本の近代化を支えた産業遺産・明延鉱山の魅力を次代に伝える取組を展開

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 コンゴプロダクツ

昇華転写プリントをホワイトボードへ施した、書いても、消しても転写が剥がれない!「サブリメイトボード」の開発

カタシマ 株式会社

但馬の豊かな自然が育んだ地域産業資源(どぶろく)を活用した日本と欧州の食文化の融合商品「どぶろく」の開発をはじめ、多様な地域連携商品を展開

平成26年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 川嶋建設

高強度炭素繊維を使用した木造建築・耐震補強リフォーム専用工法「耐震プレース」の開発により、耐震工事の工期短縮とコストダウンを実現

有限会社 ノザキ

加工の難しい超硬合金などの研削加工技術で精度の限界に挑戦し続け、他社が真似できない困難な加工や1ミクロン単位の公差にも対応

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 グリーンウィンド 道の駅「但馬のまほろば」

「但馬の東の玄関口」として、但馬全域の観光情報発信や特産品販売・PRを行い、交流人口の増加に貢献

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

農業生産法人 株式会社 Teams

耕作放棄地の再生による循環型農業と6次産業化で地域の農業ビジネスを開拓

株式会社 サン・ウォーター

兵庫県の最高峰、氷ノ山山系の地下200mから湧き出た水を利用した非加熱天然水を製造販売し地域活性化を推進

平成27年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

新生化学工業株式会社 豊岡事業部

培ったシール技術のノウハウで高品質・低価格な精密プラスチック二色成形品の供給に成功

此の友酒造株式会社

元禄3年より受け継がれる伝統的な醸造技術による高品質な日本酒で全国新酒鑑評会2年連続金賞を受賞

区分 自然と共生する環境創造事業部門

コウノトリ育むお米 生産部会

コウノトリとの共生を目標に無農薬栽培、減農薬栽培による「コウノトリ育む農法」を推進し、環境と経済が両立しうる事例として国内外に広く発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 湯村温泉 愛宕山観光

四季折々の豊かな自然環境を活用した商品開発やスポーツ少年団合宿誘致等で交流人口拡大の貢献

株式会社 Mother Earth

カヌー、サブボードを活用したマリナクティビティのマルチ化により海水浴シーズン外での観光誘客を推進

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

八鹿鉄工株式会社

製造業から農業への進出により新たな農業のスタイルを確立し、高糖度トマトの安定栽培を実現



兵庫県但馬県民局 地域政策室 地域づくり課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 TEL 0796-26-3685